

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和3年2月15日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3470203492		
法人名	アイエルエス株式会社		
事業所名	グループホーム太陽		
所在地	広島市佐伯区利松3丁目25-42 (電話) 082-929-5533		
自己評価作成日	令和3年1月10日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3470203492-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和3年2月10日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

いつまでも元気で長生きをして頂く事を基本に、個別ケアを中心に残存能力を維持しながら、自分らしく、生活出来る様に支援しています。体調管理をしっかり行い、少しの異変でも気づく様に心掛けています。医療連携を密にとり、ご本人様、ご家族様に安心して頂ける様心掛けています。施設で看取りが出来る様にしています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

医療およびリハビリとの連携が充実しており、内科医週2回、訪問看護週1回、歯科週1回、訪問リハビリ週3~4回、皮膚科月1回、精神科月1回の訪問を受けている。スタッフも生活を通じた機能の維持に熱心に取り組んでおり、理念の「終の棲家」を実践する看取りを行っている。スタッフ間の連携は主に、朝夕の申し送りを通じて行うが、情報の共有や意見の反映がスムーズに行え、入居者の一人ひとりのできることを継続したり、全員が浴槽に浸かる入浴につながっている。

自己評価	外部評価	項目(A)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	「終の棲家として安心して暮らしている様ご利用者の尊厳を大切に生活のパートナーとして支えていきます。」との理念を掲げて朝の申し送り等事あるごとに話題にだしている。	管理者とスタッフで検討した理念を玄関に掲げるとともに、朝夕の申し送り時に最期まで生活するうえで出来ることはしてもらうケアであったか確認している。また、言葉づかいや羞恥心に配慮し尊厳を大切にケアとなっていたか振り返っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	町内会に入っていますが、コロナの関係で現在他との交流は無い状態です。	町内会に入り、民生委員との交流を通じて行事の時には集会所のテーブルを借りたり、ボランティアの演奏や演劇を通じた参加がある。百歳体操の会場にもなっており町内の方との地域交流がある。敬老の日やクリスマスには保育園の園児の訪問がある。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	以前は地域包括の方、ボランティアの方とお話しさせて頂いていましたが、現在コロナの関係で自粛させて頂いています。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	現在自粛中	民生委員、地域包括支援センターの職員、入居者のご家族3～4名の参加で開催している。地域包括支援センターからの提案で百歳体操、ご家族からの提案で、訪問時に様子の分かる交換ノートの居室への設置、民生委員からは地域の民生活動に関わる取り組みの紹介がなされている。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	福祉担当の方とは、病院受診の連絡等で、連携をとらせて頂いています。	認知症ボランティアの実習場所として協力したり、日常的に福祉課との連絡訪問を受けて連携している。また、佐伯区や地域保健対策協議会の開催する研修会や会議に参加している。	

自己評価	外部評価	項目(A)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束のマニュアルを作成し、スタッフがいつでも閲覧できるようになっている。身体拘束にあたるケアについては、その都度話しあっています。施錠は日中はしません。	身体拘束ゼロへの手引きを中心にスタッフで学習するとともに、言葉による抑制も含めて注意するようにしている。入居者家族からの提案があっても、ホームの方針の説明とリスクと弊害の理解をしてもらい拘束をしないように対応している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	虐待防止のマニュアルを作成し、その都度虐待になる行為について話し合っています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	成年後見人に付いて頂いておられる方が何人かおられます。社協の「かけはし」をご利用の方もおられます。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約の際は十分に時間を取り、不安や疑問が残らない要説明し、質問に答えさせて頂いています。納得がいった上で契約をさせて頂いています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ご利用者様には苦情申し立ての出来る窓口を設置し、申し立てによって利用者にとって不利益な扱いを行わない事を説明しています。	入居者は文字の書ける方は、紙に書いて管理者に伝えたり、言葉でスタッフに伝えられる方は言葉で意向を伝えている。ご家族からは家族交流会や月に一度の便りの返事としていただくことがあり、食事やドライブ外泊に繋がったことがある。	

自己評価	外部評価	項目(A)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	申し送り等、または、個別で意見を聞く様になっています。	申し送りノートを活用し、朝夕の申し送り時に入居者の様子やケアに関わる提案を行い検討している。エアマット等の導入やベッドの設置などに結び付いたことがある。勤務時間や曜日、希望休など申告により柔軟に対応できる体制にある。希望を踏まえた役割分担を行っている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	代表者は勤務表等により、勤務状況を把握し、管理者の報告により、職場の人間関係や、やりがい等を理解している。又マッサージチェアを置いたりして職場環境を整備しています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	社外、社内研修を実施しながら、日々のトレーニングを実施する様努めています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	同業者のネットワークに加入しているが、コロナの影響で自粛している。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	担当のケースワーカー、家族と十分に情報交換し、周囲の環境をよく検討し、傾聴の機会を設け、信頼関係の構築に努めている。		

自己評価	外部評価	項目(A)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>事前に家族様としっかりお話しさせて頂いて、報告を密にさせて頂き、傾聴する機会をもうけ信頼関係構築に努力している。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>家族様と十分に情報交換し、本人様と周囲の環境をよく検討し、見極める事が出来る様に努めています。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>家事等、日常生活上の作業を通じ、喜怒哀楽を共にし、本人様から学んだり、支えあう関係を築く様に努力している。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>面会時間を設けず来たいときに気楽に来所して頂き、行事等にも参加して頂ける関係を築く様に努力している。現在は自粛のためライン電話等で対応させて頂いています。毎月お手紙を出させて頂いています。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>希望に沿って電話、手紙等出来る様に支援している。お部屋にも泊まれる様に支援しています。</p>	<p>友人が訪ねて来られ二人でカラオケに行ったり、妹からの電話をつないだり、お孫さんからの年賀状を渡したり馴染みの人との関係が継続するよう支援している。法事で自宅に帰ったり、自宅に外泊される方もいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目(A)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者様同士の関係を把握し、共同の作業を通じ支えあう様にしています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	イベントのお便りのお誘いのお手紙を出したり、希望により、相談等出来る様に努めています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々のコミュニケーションを通じて、しっかり傾聴しています。	入居時の生活歴や嗜好等を参考として、日常の会話の中で意向を確認している。食べたいものをチラシを見ながら話し合いお寿司やおやつに繋がったことがある。意向の表出が難しい方は、表情やしぐさから職員が読み取っている。席の配置や居室の位置も関係性や意向を見ながら配慮している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	関係者から可能な限り情報を貰っています。又本人様からも引き出せる様務めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	毎日の記録の中に記載し、スタッフ間の申し送り等で、現状の様子を把握しています。個々しっかり観察する様に努めています。		

自己 評価	外部 評価	項 目 (A)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>本人様や家族様の意見を尊重し、主治医、看護師、スタッフの意見を取り入れて計画を作成しています。</p>	<p>モニタリングを3か月に一回行っている。スタッフが記載したケア計画の実施記録と変化をもとに計画作成担当者が集約し、必要に応じて往診医、訪問介護、訪問リハの意見をもとに修正し介護計画を策定している。軽微な変更点については、朝夕の申し送り時に必要に応じて検討している。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>記録を工夫し、情報を共有し、その都度計画を見直しています。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>一人一人をしっかり観察し、その都度柔軟な対応ができる様に努めています。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>警察、消防等の機関と協力しています。ボランティアの方も増えていますが、今はコロナの影響で自粛しています。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>訪問医療の先生を主治医とし、連携をとり、適切な医療を受けれる様になっています。</p>	<p>往診医を中心としながら、入居者家族の希望と通院により入居前の医療機関の受診ができる。内科医週2回、訪問看護週1回、歯科週1回、訪問リハビリ週3～4回、皮膚科月1回、精神科月1回の訪問を受けている。眼科の必要な方はスタッフで通院支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目(A)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>訪問看護ステーションと契約し、週1回の定期訪問と24時間対応の体制を取って頂いています。常に相談連絡し、適切な看護を受けられる様にしています。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>主治医の仲介で入院先が決定し、その後は病院相談員さんとの連携相談をしっかりとっています。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>家族様としっかり話し合い、終末期の時の方向性を決めています。医療と連携を密に取り、支援に取り組んでいます。</p>	<p>入居時に重度化の方針を説明し、看取りの確認書にて入居者および家族の終末期の医療利用の意向を確認している。看取り経験もあり、新任スタッフにも研修を行いながら、理解・合意・納得のもとで理念の「終の棲家」である看取りを実践している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>急変や事故発生時のマニュアルを作成し、周知に努めています。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>資格をもった防火管理者を配置し、消防署に防火計画書を提出しています。年2回の消防訓練を実施し、民生委員の方にも声掛けをしています。現在は自社だけで行っています。</p>	<p>年2回消防訓練を実施し、1回は消防署の参加を得ている。民生委員を通じて、地域の方の参加を求めながら実施している。ハザードマップでは災害地域ではないが、河川の氾濫の際は、指定避難場所の中学校よりも2階に避難するよう消防署の指導を受けている。備蓄は、水・食料1週間分を目途に準備している。</p>	

自己評価	外部評価	項目(A)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	管理者が全職員の接遇を観察し、適時注意を行っています。スタッフ同士でも注意しあっています。	尊厳や人権について研修を行うとともに、日常的には言葉づかいや羞恥心に配慮した声掛けになっているかスタッフ同士で確認・指摘し合っている。トイレや入浴時の声掛けの工夫、扉を閉め一人ひとりの対応を行っている。入居時に個人情報の扱いの同意を得ており、面会制限のある方の対応経験もある。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	個々に希望を聞いたり、引き出せる様コミュニケーションを図っています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	食事や昼寝の時間等、希望や日々の体調に応じて、個々に対応している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	衣類等ご本人様と一緒に買い物に行ったり、起床時希望確認をしたりしています。理美容もご本人様が自由に選んで頂いています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事レクを定期的に行っています。利用者様と一緒に食材を切ったり、片付けをしたりと協力して行っています。	週の内、2日はホームで買い物をし調理している。他の日は、おかずを業者から納入している。買い物がある入居者は買い出しに同行している。節分に巻き寿司を作ったり、季節の行事に合わせた献立としている。おやつも週1回は、人形焼きやたこ焼きパンケーキなど入居者と一緒に作って楽しんでいる。	

自己評価	外部評価	項目(A)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>食事や水分量の摂取を記録し、毎月体重測定をし、健康管理に注意を行っています。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後の口腔ケアを本人様と一緒に週1回の訪問歯科による口腔ケアも行っています。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄の時間を記録し、パターンや習慣を把握し、誘導、声掛けに努めています。</p>	<p>日々の生活記録で排尿、月単位の排便管理表にて排便のパターンを把握して、声掛けや水分摂取や運動に留意している。日中はおむつ利用はなく、パットにて対応しトイレでの排尿支援に努めている。トイレは左右の麻痺に対応できるよう手すりの設置等工夫をしている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>定期的な水分摂取と身体を動かして頂く事の声掛けや、便秘薬の調整で管理させて頂いています。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>入浴の曜日や時間は決まっていますが、個々の体調や希望に応じて柔軟に対応させて頂いています。</p>	<p>入浴は、午前週2回を基本としているが、入居者の意向や排便等の状況から時間帯や日程も柔軟に対応している。スタッフに入浴介助の研修を行い、シャワー浴でなく、浴槽に浸かってもらう入浴を行っている。ゆず湯に入ることもある。</p>	

自己評価	外部評価	項目(A)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	睡眠の状況を記録し、必要に応じて主治医に相談し、よく眠れる様に支援しています。		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	薬情を保管し、変更があれば申し送り等で情報を共有しています。		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	個々にあった役割や楽しみがあり、継続出来る様に支援しています。		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	買い物と一緒にでたり、散歩に行ったりしています。外食もしていましたが、今は自粛しています。	日常的には、縁側で日光浴を楽しんだり、散歩をしている。交通量も少なく川べりで安全に散歩がしやすい環境にある。2~3か月に1回は、寿司屋や和食屋にタクシーで外食するなど行っている。法事の際は自宅に帰ったり、自宅での外泊なども支援している。	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	金銭管理が可能な方はご自分で管理をして頂いています。難しい方は、家族様だったり、後見人の方が管理されていて、使いたい時には、使える様に支援しています。		

自己評価	外部評価	項目(A)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>希望があれば、電話、手紙のやりとりが出来る様に支援しています。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>落ち着いた雰囲気を出せる様に光の調整をしたり、音楽を流したりしています。</p>	<p>リビングは十分な広さがあり、テーブル、ソファなどが配置されており、くつろげる環境が整備されている。光量は抑え気味で落ちついている。リビングからキッチンが見えて、音や臭いを感じるなど生活感を感じられる配置となっており、壁画には季節を感じる貼り絵や塗り絵が掛けてある。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>ダイニングテーブルとは別にソファを設置し、工夫しています。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>馴染みの家具、衣類等ご本人様が落ち着いて過ごせる様持ってきて頂いています。</p>	<p>使い慣れた椅子やテレビ、冷蔵庫、仏壇や写真立てなどの持ち込みがある。ベッドとタンスはホームで用意しているが、追加の持ち込みや配置は入居者の希望に沿って行っている。認知症状や相性などを考慮し、居室の変更を行うなど入居者家族の合意の下で、入居者全員が落ち着いて暮らせるよう配慮している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>トイレ・口腔ケア等ご自分で出来る事は見守りをし、出来るだけご本人様にして頂いています。出来ないことはお手伝いさせて頂いています。</p>		

V アウトカム項目(A) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(B)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。	「終の棲家として安心して暮らしていただける様ご利用者の尊厳を大切に生活のパートナーとして支えていきます。」との理念を掲げて朝の申し送り等事あるごとに話題にだしている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	町内会に入っていますが、コロナの関係で現在他との交流は無い状態です。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	以前は地域包括の方、ボランティアの方とお話しさせて頂いていましたが、現在コロナの関係で自粛させて頂いています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	現在自粛中		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	福祉担当の方とは、病院受診の連絡等で、連携をとらせて頂いています。		

自己評価	外部評価	項目(B)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束のマニュアルを作成し、スタッフがいつでも閲覧できるようになっている。身体拘束にあたるケアについては、その都度話しあっています。施錠は日中はしません。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	虐待防止のマニュアルを作成し、その都度虐待になる行為について話し合っています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	成年後見人に付いて頂いておられる方が何人かおられます。社協の「かけはし」をご利用の方もおられます。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約の際は十分に時間を取り、不安や疑問が残らない要説明し、質問に答えさせて頂いています。納得がいった上で契約をさせて頂いています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ご利用者様には苦情申し立ての出来る窓口を設置し、申し立てによって利用者にとって不利益な扱いを行わない事を説明しています。		

自己評価	外部評価	項目(B)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	申し送り等、または、個別で意見を聞く様にしています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	代表者は勤務表等により、勤務状況を把握し、管理者の報告により、職場の人間関係や、やりがい等を理解している。又マッサージチェアを置いたりして職場環境を整備しています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	社外、社内研修を実施しながら、日々のトレーニングを実施する様努めています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	同業者のネットワークに加入しているが、コロナの影響で自粛している。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	担当のケースワーカー、家族と十分に情報交換し、周囲の環境をよく検討し、傾聴の機会を設け、信頼関係の構築に努めている。		

自己評価	外部評価	項目(B)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	事前に家族様としっかりお話しさせて頂いて、報告を密にさせて頂き、傾聴する機会をもうけ信頼関係構築に努力している。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	家族様と十分に情報交換し、本人様と周囲の環境をよく検討し、見極める事が出来る様に努めています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	家事等、日常生活上の作業を通じ、喜怒哀楽を共にし、本人様から学んだり、支えあう関係を築く様に努力している。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	面会時間を設けず来たいときに気楽に来所して頂き、行事等にも参加して頂ける関係を築く様に努力している。現在は自粛のためライン電話等で対応させて頂いています。毎月お手紙を出させて頂いています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	希望に沿って電話、手紙等出来る様に支援している。お部屋にも泊まれる様に支援しています。		

自己評価	外部評価	項目(B)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。</p>	利用者様同士の関係を把握し、共同の作業を通じ支えあう様にしています。		
22		<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。</p>	イベントのお便りのお誘いのお手紙を出したり、希望により、相談等出来る様に努めています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	日々のコミュニケーションを通じて、しっかり傾聴		
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。</p>	関係者から可能な限り情報を貰っています。又本人様からも引き出せる様務めています。		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。</p>	毎日の記録の中に記載し、スタッフ間の申し送り等で、現状の様子を把握しています。個々しっかり観察する様に努めています。		

自己評価	外部評価	項目(B)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>本人様や家族様の意見を尊重し、主治医、看護師、スタッフの意見を取り入れて計画を作成しています。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>記録を工夫し、情報を共有し、その都度計画を見直しています。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>一人一人をしっかり観察し、その都度柔軟な対応ができる様に努めています。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>警察、消防等の機関と協力しています。ボランティアの方も増えていますが、今はコロナの影響で自粛しています。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>訪問医療の先生を主治医とし、連携をとり、適切な医療を受けられる様になっています。</p>		

自己評価	外部評価	項目(B)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	訪問看護ステーションと契約し、週1回の定期訪問と24時間対応の体制を取って頂いています。常に相談連絡し、適切な看護を受けられる様にしています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	主治医の仲介で入院先が決定し、その後は病院相談員さんとの連携相談をしっかりとっています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	家族様としっかり話し合い、週末期の時の方向性を決めています。医療と連携を密に取り、支援に取り組んでいます。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	急変や事故発生時のマニュアルを作成し、周知に努めています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	資格をもった防火管理者を配置し、消防署に防火計画書を提出しています。年2回の消防訓練を実施し、民生委員の方にも声掛けをしています。現在は自社だけで行っています。		

自己評価	外部評価	項目(B)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	管理者が全職員の接遇を観察し、適時注意を行っています。スタッフ同士でも注意しあっています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	個々に希望を聞いたり、引き出せる様コミュニケーションを図っています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	食事や昼寝の時間等、希望や日々の体調に応じて、個々に対応している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	衣類等ご本人様と一緒に買い物に行ったり、起床時希望確認をしたりしています。理美容もご本人様が自由に選んで頂いています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事レクを定期的に行っています。利用者様と一緒に食材を切ったり、片付けをしたりと協力して行っています。		

自己評価	外部評価	項目(B)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>食事や水分量の摂取を記録し，毎月体重測定をし，健康管理に注意を行っています。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後の口腔ケアを本人様と一緒に週1回の訪問歯科による口腔ケアも行っています。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄の時間を記録し，パターンや習慣を把握し，誘導，声掛けに努めています。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>定期的な水分摂取と身体を動かして頂く事の声掛けや，便秘薬の調整で管理させて頂いています。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めず，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>入浴の曜日や時間は決まっていますが，個々の体調や希望に応じて柔軟に対応させて頂いています。</p>		

自己評価	外部評価	項目(B)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	睡眠の状況を記録し、必要に応じて主治医に相談し、よく眠れる様に支援しています。		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	薬情を保管し、変更があれば申し送り等で情報を共有しています。		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	個々にあった役割や楽しみがあり、継続出来る様に支援しています。		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	買い物と一緒にでたり、散歩に行ったりしています。外食もしていましたが、今は自粛しています。		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	金銭管理が可能な方はご自分で管理をして頂いています。難しい方は、家族様だったり、後見人の方が管理されていて、使いたい時には、使える様に支援しています。		

自己評価	外部評価	項目(B)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>希望があれば、電話、手紙のやりとりが出来る様に支援しています。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>落ち着いた雰囲気を出せる様に光の調整をしたり、音楽を流したりしています。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>ダイニングテーブルとは別にソファを設置し、工夫しています。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>馴染みの家具、衣類等ご本人様が落ち着いて過ごせる様持ってきて頂いています。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>トイレ・口腔ケア等ご自分で出来る事は見守りをし、出来るだけご本人様にして頂いています。出来ないことはお手伝いさせて頂いています。</p>		

V アウトカム項目(B) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム太陽

作成日 令和3年3月8日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束をしないケアの実践。	会議、記録の徹底。	きちんと時間を取り、多くのスタッフと議論します。	6ヶ月
2	13	職員を育てる取り組み。	中堅社員が人を育てる事が出来るようになる。	社外、社内の研修ミーティングの時間をこまめに作る。	6ヶ月
3	14	同業者との交流を通じた向上。	情報交換ができ、協力し合える同業者を作りたい。	地域の交流等積極的に参加したい。	1年
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。